令和４年度

予算説明書

Dream Sight MORIYA

守谷市

〔教育委員会　生涯学習課　所管〕

03020111　児童クラブ運営事業　　予算書P. 115

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	307,153	288,415	18,738	
国庫支出金	42,905	45,383	△ 2,478	子ども・子育て支援交付金（放課後児童健全育成事業）
県支出金	36,965	45,383	△ 8,418	子ども・子育て支援交付金（放課後児童健全育成事業）
地方債	0	0	0	
その他	44,352	53,561	△ 9,209	児童クラブ入所負担金
一般財源	182,931	144,088	38,843	

【背景（なぜ始めたのか）】

共働き家庭が増加する中，就労支援対策として，平成4年9月仲町（現守谷小学校）児童クラブの開設をスタートに，平成5年に北守谷（現御所ケ丘小学校）児童クラブ，平成7年に南守谷（現松ケ丘小学校）児童クラブを開設し，平成8年度から平成12年度までの間に全小学校に児童クラブを開設した。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

放課後帰宅しても，就労などにより保護者が日中家庭にいない小学生を対象に，児童の安心安全な居場所を確保し，保護者の就労を支援するとともに，児童の健全育成を図る。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

公設クラブは，運営業務を民間事業者に委託し，平日の授業終了後から午後7時まで，また，土曜日，長期休業期間（春休み，夏休み，冬休み）及び学校振替休業日は午前7時30分から，小学校ごとに整備した専用室において運営している。引き続き，新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い，31クラブの常設施設に加えて，学校の特別教室を借用するなど，1クラブ室当たりの人数を減らして運営する。

また，4月から民設クラブの補助制度をスタートし，日曜・祝日の預かりや学習塾機能の提供などにより，更なる民間活力の活用を図る。

［公設児童クラブ］運営業務委託：（株）アンフィニ　委託期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日　5年間

［民設児童クラブ］運営補助対象：（株）ウェルビー　補助期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日　単年

クラブ室でのレクリエーション

体育館での活動

10040102　アーカスプロジェクト参画事業　　予算書P. 215

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,275	4,275	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	4,275	4,275	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

地域活性化を目的に，県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想（アーカス構想）」を誘致し，平成6年度の試行を経て，平成7年度から「アーカス構想パイロット事業」，平成12年度から現在の「アーカスプロジェクト」がスタートした。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより，市民に芸術文化活動の体験機会を提供するとともに，地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。

アーティストとの交流機会を提供することで，子どもたちの豊かな心と感性を育てる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市は負担金を支出し，もりや学びの里の施設を提供して，県，市，関係機関からなる実行委員会(事務局：県)によるアーカスプロジェクトの運営により，アーティストの招へい及び制作支援，活動発表会(レジデンスプログラム)や，一般向け，子ども向けアートイベント(地域プログラム)を開催する。

また，市内イベント活動等の運営や事業広報活動を支援する。

アーティスト・イン・レジデンス(現地作業)

10040105　学校・家庭・地域連携協力推進事業　　予算書P. 215

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,928	3,658	270	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,928	3,658	270	

【背景(なぜ始めたのか)】

社会が複雑・多様化し，子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で，学校が抱える課題も複雑化・困難化している。また，地域においては，地域社会のつながりが希薄化するなど，学校，家庭，地域がパートナーとして連携・協働する仕組みが不可欠となった。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

未来を担う子どもたちの豊かな学びを支えていくため，学校・家庭・地域が連携し，三者それぞれが持つ教育機能を発揮するとともに，互いに連携・協力しながら，各地域が持っている特色を十分に生かし，地域全体で子どもたちの健やかな成長を支援する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

小中学校とまちづくり協議会等が連携し，豊富な地域人材により子どもたちの学びを支えることを目的に設置した，「もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク」の活用を促進し，活動を通じて地域の活性化を図る。

また，家庭教育においては，市内保育所（園），幼稚園，小中学校保護者（希望保護者）等を対象に，家庭の役割を見つめ直す機会となるよう，親の役割，子どもの心の理解など家庭での教育について学ぶ場を提供するとともに，保護者同士の交流を通して互いに支えあう関係づくりを目指す。

10040107　芸術文化振興事業　　予算書P. 216

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,532	2,424	108	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,532	2,424	108	

【背景（なぜ始めたのか）】

市民が行う芸術文化活動の自主性・創造性を尊重し，その活動を促進するとともに，相互の連携・協力の機会提供を通して，担い手の育成及び市における総合的な芸術文化振興の推進を目指して開始した。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

市民やサークル・団体等に芸術文化活動の発表の機会を提供するとともに，昭和52年に設立された「市文化協会」に対する補助事業を通して，市民が身近に芸術文化に触れることができる環境の充実を図る。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

1 もりやＮＡＴＳＵのコンサート
　8月に市内で活動する音楽サークルによるコンサートを開催する。中央公民館ホールの音響・照明等の設備を活用して開催する。
2 守谷市芸術祭
　11月に中央公民館を主会場に，市文化協会との共催による美術展，生花展，若い芽のコンサート，ふれあい茶会，芸能祭を開催する。
3 守谷市美術作家展
　市民交流プラザギャラリーを会場に，市内で活動し，多くの美術展で入賞・入選している美術作家の展覧会を開催し，芸術鑑賞の機会を提供する。
4 市文化協会の活動支援
　芸術文化活動を通して，市の発展と市民の文化交流に努める市文化協会の活動を支援する。
　（守谷市芸術祭のほか，講座・教室，コンサート等開催予定。団体数：80団体，会員数：約550名）

美術展作品展示の様子

10040117　スポーツ・文化振興奨励事業　　予算書P. 218

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,670	2,525	145	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,670	2,525	145	

【背景（なぜ始めたのか）】

スポーツ・文化に親しみ，県等の代表として全国大会等に出場する市民を奨励し，出場に係る経費の負担軽減を図るため，平成14年度に奨励金交付制度を設けた。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

スポーツ及び文化の振興を図り，市民の健康づくりと文化意識の高揚に寄与する。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

「守谷市スポーツ・文化振興奨励金交付要綱」に基づき，スポーツ又は文化で全国大会出場の功績をあげた個人又は団体に対して記念品と奨励金を交付し，栄誉を讃える。

［交付対象］要綱で規定する全国大会，アジア選手権大会，世界選手権大会，オリンピック・パラリンピック等文部科学省等が主催又は後援する全国規模以上のコンクール，国際コンクール等

10040122　成人式事業　　予算書P. 219

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,146	2,906	240	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,146	2,906	240	

【背景（なぜ始めたのか）】

新成人の門出を祝い励ますとともに，大人の社会に仲間入りすることの自覚を促すため，毎年開催している。

民法の一部を改正する法律により，令和4年4月1日から民法の定める成年年齢が18歳に引き下げられることに伴い，守谷市は，社会教育委員の会議から提言書が提出され，教育委員会の承認を経て，令和4年度（令和5年1月開催）以降も従来通り20歳を対象に式典を開催することになった。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

20歳の節目を祝福し，大人としての義務と責任を改めて自覚してもらうとともに，20歳同士の交流を深め，郷土を誇りに思う心を育む。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

対象者による運営協力委員会を組織し，式典の運営や準備を行政と協働で進める。

会場設営を委託し，守谷駅から会場（常総運動公園総合体育館）まで送迎バス（往復2便）を運行する。

［開催日等］令和5年1月8日（日）（予定）

［対象者］平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの方

※参考：令和4年成人式典　対象者数734人，内出席者数502人（出席率68.4%）

［内容］成人式典，運営協力員主催イベント（予定）

新成人による運営協力員

はたちの主張

10040123　放課後子ども教室事業　　予算書P. 219

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	36,908	35,673	1,235	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	14,539	14,539	0	放課後子供教室推進事業費補助金
地方債	0	0	0	
その他	6,921	6,921	0	放課後子ども教室事業保護者負担金
一般財源	15,448	14,213	1,235	

【背景（なぜ始めたのか）】

子ども達に関わる重大事件の発生など，青少年の問題行動の深刻化や地域や家庭の教育力の低下等の課題に対応し，心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため，地域の方々の協力を得て，平成19年度から学校等を活用するなど計画的に子ども達が安心して活動できる居場所を提供している。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

子ども達の安心・安全な活動拠点（居場所）を設け，学習活動やスポーツ・文化活動，地域住民との交流活動等の取組を実施することにより，社会性，自主性，創造性等の豊かな人間性を育むとともに，地域コミュニティーの充実を図る。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

放課後子ども総合プランとして，小学校の校庭・体育館・特別教室等を活用して，遊び，スポーツ・文化等の活動が体験できる場を提供する。

運営業務を民間事業者に委託し，児童クラブと一体型の運営を行い，プランマネージャーを中心に，地域ボランティアを活用して，放課後児童支援員と連携した活動を行う。

令和4年度は，新型コロナウイルス感染症の影響により，4月当初からの実施を延期する。活動場所の環境や今後の感染状況等を踏まえて，実行委員会で，参加人数や活動時間等の実施方法を検討し，再開時期を決定する。

［運営業務委託］（株）アンフィニ　［今期委託期間］令和2年4月1日～令和7年3月31日　5年間

10040202　文化財保護事業　　予算書P. 222

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,363	3,760	△ 2,397	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,363	3,760	△ 2,397	

【背景（なぜ始めたのか）】

文化財保護法第190条に基づき，昭和52年に守谷市文化財保護条例を制定し，先人からの優れた遺産である文化財を適切に保護・活用し，未来に伝えていくこととした。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

市内に存する有形無形の文化財を保護し，未来に伝えていくとともに，文化財愛護や郷土理解の心を育む。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

文化財保護審議会の答申に基づき，市内の文化財に関する調査・評価を行い，特に価値の高いものについては指定（市，県）や記録保存等の措置を取る。また，指定史跡や天然記念物の維持管理を行うほか，埋蔵文化財の所在が見込まれる土地で工事等が行われる場合には，事前に試掘調査を行う。

地域に誇る歴史遺産として，守谷城址の魅力を周知し，歴史を知る機会を提供する。

史跡「守谷城址」

試掘調査の様子

10040401　公民館運営管理事業　　予算書P. 223

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	147,147	127,622	19,525	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	18,399	557	17,842	ふるさとづくり基金繰入金
一般財源	128,748	127,065	1,683	

【背景（なぜ始めたのか）】

市民のコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため，昭和56年に中央公民館，平成4年に郷州公民館，平成8年に高野公民館，平成11年に北守谷公民館を開館した。

平成24年度からは指定管理者制度を導入し，民間事業者のノウハウを活用した施設の管理運営を開始した。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

多様化・高度化する市民の学習ニーズに対し，幅広い年齢層に学習機会の提供を行い，利用者が安全で快適に学習活動や趣味活動等ができる場所を提供する。

指定管理者の管理運営により市民ニーズに効果的，効率的に対応し，民間能力の活用とサービス向上を図る。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

指定管理者による施設の管理運営を行うとともに，適正かつ確実なサービスが提供されているか，サービスの安定的・継続的な提供が可能な状態にあるかなどを確認する月次報告に加え，現地調査，管理運営状況の評価等を行うモニタリングを実施し，必要に応じて改善に向けた指導・助言を行う。

市制20周年を機に，市民により親しみを持って活用していただける施設になるよう中央・郷州・高野・北守谷公民館の愛称を募集する。

令和4年度は，郷州公民館の長寿命化に向けた改修工事実施設計，高野公民館及び北守谷公民館の施設・設備等改修箇所の優先順位を把握するため，劣化度調査を行う。

［指定管理者］アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体

［指定管理期間］令和2年4月1日～令和7年3月31日　5年間

10050104　市スポーツ協会補助事業　　予算書P. 230

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	7,300	1,800	5,500	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	7,300	1,800	5,500	

【背景（なぜ始めたのか）】

市民がスポーツに親しむことができ，技術の向上，健康増進と地域の親睦・融和を図るための組織として，昭和43年に設立された「守谷市体育協会」に対する補助事業として開始し，令和3年4月「一般社団法人守谷市スポーツ協会」に組織が変更された。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

市民の健康増進と体力向上のため，各種運動競技の普及発展と競技力向上を目的に活動するスポーツ協会の自主的な事業を支援し，市民交流とスポーツ活動の推進を図る。

また，市が主催するスポーツ大会やイベント等の業務委託，事業協力など体制強化を図る。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

令和3年4月からの法人化に伴い，組織体制の整備及び強化のため，引き続き，市から事務局職員を派遣する。

新たに協会が雇用する事務局職員と連携・協力を図り，収益事業による安定した自主財源の確保や運営基盤の強化を目指し，協会の自立を促進する。

また，引き続き補助金を交付し，スポーツ協会が主催する各種スポーツ大会，技術講習会等の活動を助成し，市民がスポーツ活動に参加することにより体力の向上及び健康増進を図るとともに，スポーツ協会及び加盟団体の組織強化を支援する。

ソフトボール連盟大会

協会設立記念「MORIYAリレーマラソン」

10050105　市スポーツ少年団補助事業　　予算書P. 230

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,440	2,440	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,440	2,440	0	

【背景（なぜ始めたのか）】

青少年の健全育成と少年期におけるスポーツの楽しさを伝えるため，昭和57年に設立された「守谷市スポーツ少年団本部」に対する補助事業として開始した。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

各種競技の普及・発展，競技力向上と各少年団間の交流を目的に活動するスポーツ少年団本部の自主的な事業を支援し，青少年健全育成と児童の体力向上に寄与する。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

補助金を交付し，スポーツ少年団が部会単位で開催する各種スポーツ大会，技術講習会等の運営費を助成する。また，守谷市の代表として出場する全国大会等の遠征費を助成する。

守谷市スポーツ少年団の交流会を実施することで，各単位団の交流を深め，親睦を図るとともに，子ども達の体力，精神面の健全な発達と集団の中での協調性を養う。

［スポーツ少年団数］21団体（令和4年1月現在）

スポーツ少年団活動（剣道・ミニバス・バドミントン）

10050107　スポーツによる地域活性化推進事業　　予算書P. 230

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,813	3,043	1,770	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	2,185	565	1,620	ふるさとづくり基金繰入金
一般財源	2,628	2,478	150	

【背景（なぜ始めたのか）】

国（スポーツ庁）が推進するスポーツによる地域活性化施策と連携し，市民生活の質の向上や健康増進，さらに，地域の特色を活用した交流の創出を狙う取組を充実させることを目指して開始した。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

市民のスポーツ・運動習慣定着の促進及び個々の適性やライフステージに応じたスポーツの機会提供を行うとともに，市スポーツ協会や近隣自治体等との連携により，スポーツ推進体制の強化を図り，スポーツによる地域活性化に持続的に取り組む。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

1　各種スポーツ大会

市スポーツ協会との共催（一部業務委託）により，軟式野球大会，バドミントン大会，バレーボール大会，バスケットボール大会，ソフトテニス大会，テニス大会，ソフトボール大会，グラウンドゴルフ大会，卓球大会を開催する。

2019年茨城国体を記念し，常総市・坂東市と共催で，茨城県中学校ハンドボール大会を開催する。

2　スポーツ教室・交流体験

誰もが気軽にスポーツに親しむきっかけづくりと市民の健康増進，体力向上を図る機会を提供する。

パラリンピック正式種目（ボッチャ・ブラインドサッカー等）の魅力を体験できる機会を提供する。

子どもの体力，コミュニケーション能力や創造力の発達，表現力や自主性を育むため，児童向け遊びプログラムを実施する。

3　広域連携による地域活性化

茨城県南西地域自治体によるスポーツを核としたまちづくりに向けた取組を継続する。

ボッチャ体験会

ブラインドサッカー体験教室

10050108　守谷ハーフマラソン開催補助事業　　予算書P. 231

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,000	3,000	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,000	3,000	0	

【背景（なぜ始めたのか）】

マラソンを通じて市民相互の交流と，市の知名度向上を図るため，昭和59年から体育協会（現守谷市スポーツ協会）が主催し，実施している大会に対する補助事業として開始した。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

「守谷ハーフマラソン」への参加により，幅広い年齢層の人々の健康増進に寄与するとともに，全国からの参加者に守谷市をＰＲする。

また，大会運営に多くのボランティアが参加し，市民相互の交流を深める機会になっている。

【内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）】

大会は守谷市スポーツ協会が，市からの補助金の他，参加費及び企業協賛等により実施している。毎年2月に開催しており，ハーフマラソン・5㎞・3㎞・2㎞の男女年代別の種目を設定し健脚を競い合う。

ハーフマラソンは，日本陸上競技連盟公認コースで茨城陸上競技協会の公認大会となっている。

新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら，オンラインマラソンなど，通常開催以外の実施方法も併せて検討し，参加希望者のニーズに対応する。

第36回（2020年2月）大会の様子